

令和２年度 森林環境譲与税の使途公表

北海道 栗山町

事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績	税導入の効果
		(A) + (B) + (C)	(A) うち 令和２年 度の森林 環境譲与 税 (千円)	(B) うち 基金取崩 額 (千円)	(C) うち 他の財源 (千円)			
意向調査の準備作業	森林意向調査 事前準備事業	1,132	1,131	0	1	意向調査対象森林の洗い出しのため、空撮用ドローン整備及びオルソ画像作成ソフトを整備、また、ドローンオペレーター養成の職員の研修会等へ参加費用	ドローン通信費 80千円 オペレーター研修費 482千円 チェーンソー等備品、消耗品等 394千円 ドローン保険料 62千円 ドローン点検、オルソソフト保守費用 114千円 森林現況調査面積 10ha	【ワンフリーズ】 税活用により、 ・空撮用ドローンの整備により、これまで難題となっていた森林経営計画外の民有林の現況確認が可能となった。これにより意向調査対象森林の把握に繋がり、森林経営計画への加入促進に寄与し、町全体の適正な森林計画等に繋がる。 ・また、森林組合が導入する測量用ドローン、オルソ画像作成ソフトの助成及びドローンオペレーター養成費用を助成、結果、町と森林組合との連携が図られ、森林経営計画の加入にも繋がった。 【詳細】 我が町は、林業の担い手が不足している状況であることから、南空知森林組合と連携し、本税を活用し、意向調査に取り組むこととした。 町予算を活用し、ドローンによる空撮及び現地確認等により、意向調査対象森林のうち施業可能等の優先度の高い40.28haを抽出し、聞取りにより6件9.75haの意向調査を実施した。 基金残額は、今後予定している ①令和3年度より間伐等への既存、補助事業への上乗せ助成。 ②既存補助事業外の作業（根踏み等）への助成。 ③令和3年度より森林作業道管理補修等支援 ④令和4年度以降の高性能林業機械導入時の補助残への助成 に使用することとし、そのため一定程度の基金積立が必要であるため積立てた。
担い手確保	林業測量用ドローン導入及び資格取得補助事業	806	806	0	0	北海道林業事業体登録業者のうち、栗山町内に本社を有し、かつ、栗山町内の森林経営計画策定者である林業事業体（南空知森林組合）に対し、測量用ドローン、オルソ画像作成ソフトの導入費用の助成及びドローンオペレーターの育成及び安全なドローン運航の確保のため民間資格（DJIスペシャリスト又は同等）の取得費用及び技能習得のための講習会等参加費助成	測量用ドローン等導入事業 560千円 ドローン民間資格取得事業 246千円	
基金積立 （森林整備等）	森林環境譲与税積立金事業	7,795	7,795	0	0	令和２年度以降の補助対象外の根踏み等の森林保育作業への補助、間伐等補助対象事業への上乗せ補助、令和３年度以降の森林組合への高性能林業機械導入時の補助残への助成に備え積立てる。		
合 計		9,733	9,732	0	1			